

- ☆2022春季生活闘争
- ☆2022春季生活闘争活動予定
- ☆2022新春のつどい
- ☆2022新春のつどいフォトギャラリー
- ☆育児・介護休業法等の改正の要点
- ☆年間研修計画/埼玉大学寄付講座
- ☆2月の行動日程/パルシステム埼玉お知らせ
- ☆あけぼのビル

2022春季生活闘争

～ 未来をつくる。みんなでつくる。～

連合埼玉の取り組みの考え方

連合埼玉では、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みの継続と「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直しに向け、連合「2022春季生活闘争方針」に沿った下記の内容について、街宣行動などをつうじた世論喚起(社会運動)および中小地場組合を支援する活動を推進する。これにより県内の未組織労働者や非正規労働者を含むすべての労働者への波及をはかる。

「賃金水準の追求」の取り組み

総合生活改善闘争の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、社会・経済の構造的な問題解決に向けた「けん引役」を果たす闘争にしなければならない。そのためには、2014年以降の月例賃金の引き上げにこだわり、賃上げの流れを継続・定着させてきた流れを継続する必要がある。今次闘争においても、中小企業や有期・短時間・契約等で働く者の賃金を「働きの価値に見合った水準」への引き上げをめざし、分配構造の転換につながり得る賃上げにむけ取り組んでいく。

取り組みの中では、「底支え」「格差是正」の取り組みを強化し、企業内最低賃金協定の締結拡大や締結水準時給1,150円以上をめざすことで、特定(産業別)最低賃金の改善に波及させる。

中小組合の賃金引き上げに向けては、連合「地域ミニマム運動」をつうじて、地域における賃金相場の形成に積極的に参画する。また、企業規模間格差の是正を進めるためには、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配が必要であり、働き方も含めた「取引の適正化」について企業内労使で建設的な議論を進めるとともに、経営者団体および行政機関と連携し、社会全体への情報発信による世論形成をはかる。

「すべての労働者の立場にたった働き方」の見直し

「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、健康で働き続けられる労働時間と過労死ゼロの実現、「社会生活の時間」の充実を含めたワーク・ライフ・バランス社会の実現、個々人の状況やニーズに合った働き方と処遇の在り方など職場の基盤整備に向けた取り組みも進めていく。

運動の両輪としての「政策・制度実現の取り組み」にむけて

「2021年度重点政策」の実現を春季生活闘争における労働諸条件改善の取り組みとともに運動の両輪として推し進める。

具体的には、「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」の実現に向けた政策課題やコロナ禍への対応などについて、地方からも世論喚起などをおこなう。



連合埼玉の取り組み

1. 先行組合の要求状況や交渉経過を、街宣行動や経営団体への要請をつうじて伝えることで、未組織労働者や中小地場組合も含めたすべての働く仲間に、「底上げ」「底支え」「格差是正」と「誰もが安心・安全に働くことのできる環境整備」を広く波及できるように取り組む。また、各地域においては地域協議会と連携した展開をはかる。
2. 中小地場組合の交渉支援として、県内の経済情勢の解説、要求根拠や要求水準の考え方、交渉戦略などをテーマに春季生活闘争パワーアップセミナーを開催する。
3. 埼玉県ミニマム賃金や企業内最低賃金の位置づけなどを幅広くPRすることで、県内の賃金相場の形成および「底上げ」「底支え」「格差是正」の必要性を訴える運動につなげていく。
4. 春闘方針や交渉状況などの情報を加盟組合と共有し、共闘の強化をはかる。

具体的な活動予定

※新型コロナウイルス感染症の状況により内容の変更や中止となる場合があります。

1) 春季生活闘争パワーアップセミナーの開催

日 時: 1月30日(日)・2月6日(日) 10:00～
場 所: あげぼのビル501会議室
内 容: 連合春闘方針、連合白書
県内の経済情勢について
経営分析について

2) 世論喚起街宣行動

- ① 1次行動 春闘開始宣言
日 時: 2月8日(火) 18:00～
場 所: 大宮駅(東口)
参加者: 連合埼玉執行部
- ② 2次行動 ミニマム賃金/交渉状況アピール
日 時: 3月8日(火) 18:00～
場 所: 大宮駅(東口)
参加者: 連合埼玉執行部
- ③ 4次行動 中小・地場組合解決促進アピール
 - ③-1 全体
日時・場所: 4月5日(火) 大宮駅(東口)
参加者: 連合埼玉執行部
 - ③-2 地域ブロック
日時・場所: 4月 6日(水) 川越駅(東口)
4月 8日(金) 南越谷駅(南口)
4月13日(水) 熊谷駅(北口)
4月15日(金) 川口駅(東口)
各18:00～
参加者: 連合埼玉事務局
各ブロック担当副会長・執行委員
各ブロック地域協議会
- ④ レンゴーの日「みんなの春闘」街頭宣伝
日 時: 2月9日(水)～25日(金)
4月6日(水)～15日(金)
場 所: 県内各地

3) 世論喚起駅頭行動(各地域協議会)

- ① 1次行動 一斉労働相談および春闘開始アピール
日 時: 2月9日(水)～25日(金)
場 所: 県内各駅頭
参加者: 各地域協議会
- ② 2次行動 ミニマム賃金アピール
日 時: 3月4日(金)～25日(金)
場 所: 県内各駅頭
参加者: 各地域協議会

4) 「底上げ」「底支え」「格差是正」およびミニマム賃金に関する要請行動

- ① 経営団体への要請行動(連合埼玉)
日 時: 3月14日(月)～25日(金)
要請先: 埼玉県経営者協会、埼玉県商工会連合会、
埼玉県商工会議所連合会、埼玉県中小企業
団体中央会、埼玉中小企業家同友会など
参加者: 労働政策委員長、連合埼玉事務局
- ② 商工会などへの要請行動(地域協議会)
日 時: 3月14日(月)～25日(金)
要請先: 各地域商工会議所など
参加者: 地域協議会三役など

5) 春闘情報の共有化による共闘強化

- ① 春闘方針・HPなどを利用した情報提供
提供先: 構成組織、地域協議会
(一般に公開できる情報は広く開示する)

すべての働く仲間にとって「必ずそばにいる存在」に

連合埼玉 「2022新春のつどい」



主催者挨拶：近藤嘉会長

1月7日(金)ときわ会館にて「2022新春のつどい」を開催しました。本年も新型コロナウイルス感染対策として、構成組織・地域協議会代表者はオンライン会議システムでの参加となり、参加アカウント数は111となりました。会場には来賓、推薦首長、推薦議員をお招きし、執行委員と合わせて66名が集い、開会前には新年の挨拶をする姿が多く見受けられました。

開会后、主催者代表挨拶として近藤嘉会長から、「私たちはこの二年間、大切にしてきた対面の活動に制約を受けながら、活動を進めてまいりました。そうした状況だからこそ、働く者・生活者である、組合員との日常のコミュニケーションの大切さ、フェイス・トゥ・フェイスの重要性をこれまで以上に感じた期間でもありました。今年もしばらくの間、感染対策を講じながら社会経済の立て直しを同時にはかかっていかなければなりません。この二年間の経験を生かしながらリアルとオンラインに関わらず、改めて時間を掛けてでも組織活動・職場活動の強化・充実をはかること、活動の原点に立ち返ることが重要と考えております。

私たち労働組合に対する信頼は、職場での日常活動で積み重ねられた信頼の上に成り立っており、身近な役員の行動によって構築されるものです。また、現場で働いている組合員からの情報や、現場の最前線で活動をしている組合役員が実際に現場を見て、肌で感じ取った情報は、労働組合しか知りえない情報となり、経済の立て直し、産業によっては大きく落ち込んだ業績の立て直しをはかっていこうとし

ている、会社にとっても大変貴重で極めて重要なものとなるはずです。

私たち連合の強みは、その様に得られた貴重な情報を産業という枠を超えて共有できること、未組織の皆さんも含め、俯瞰しながら様々な角度からアプローチできることでもあります。また、自治体や経営者団体、福祉事業団体や多様な知見を有するNPOなど、幅広い社会の構成者・団体などと連携をはかり、積極的に対話を重ねながら地域の活性化をはかれることでもあります。

職場にあっても、地域にあっても、すべての働く仲間にとって「必ずそばにいる存在」として「誰一人取り残さない」ことを強く意識し、「働くことを軸とする安心社会 ～まもる・つなぐ・創り出す～」の実現に向けて、全力を尽くしたいと思います。

政治活動については、昨年は各種中間選挙ならびに第49回衆議院議員選挙における、連合推薦全候補の当選に向け、精力的に取り組んでいただきました、全ての皆さんのご尽力に対し、改めまして敬意を表するとともに、心より感謝を申し上げます。

今年も、1月23日投開票の深谷市長選をスタートに、昨年と同様、多くの中間地方選挙が予定され、夏には第26回参議院議員選挙がおこなわれます。与野党が互いに政策で切磋琢磨する政治体制の確立に向け、改めて政権交代可能な二大政党的体制をめざしていきたいと思っております。

更に来年春の統一地方選挙、夏の埼玉県知事選挙も控えておりますので、今年から来年へと勢いがつけられるように地道な職場活動をベースに地力をつけていきたいと思っております。今後も各構成組織・加盟組合・地域協議会と更に連携をはかりながら、連合埼玉として総力を結集し、組織一丸となって推薦する全候補者の当選に向け、全力を尽くしたいと思います」と挨拶がありました。

その後、来賓あいさつ、推薦首長紹介・あいさつ、国会議員紹介・あいさつ、推薦議員紹介があり、オンライン会議システムの参加者を含めたお楽しみ抽選会をおこないました。最後に、今井副会長による閉会挨拶にて、新春のつどいを閉会しました。

連合埼玉 「2022新春のつどい」フォトギャラリー



中央労働金庫
谷内 聡常務理事



立憲民主党埼玉県連
大島 敦代表



国民民主党埼玉県連
鈴木 義弘代表



埼玉県知事
大野 元裕



さいたま市長
清水 勇人



無所属
上田 清司参議院議員



オンラインで参加の皆さん



会場の様子



連合埼玉議員会議のみなさん



推薦・友好首長のみなさん



多くの祝電メッセージをいただきました



お楽しみ抽選会会長賞!!



閉会の挨拶 今井 信博副会長

育児・介護休業法等の改正の要点(令和4年10月から)

～産後パパ育休(出生時育児休業)の創設、育児休業の分割取得～

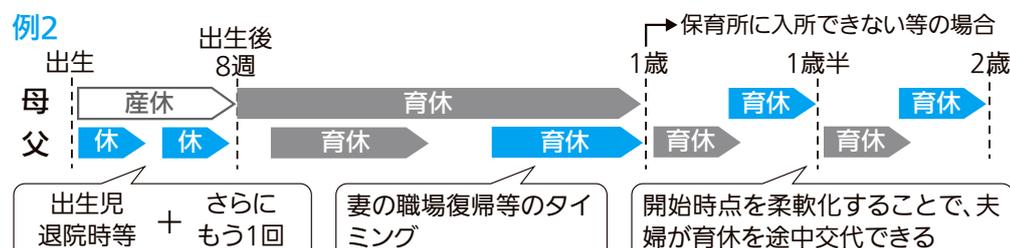
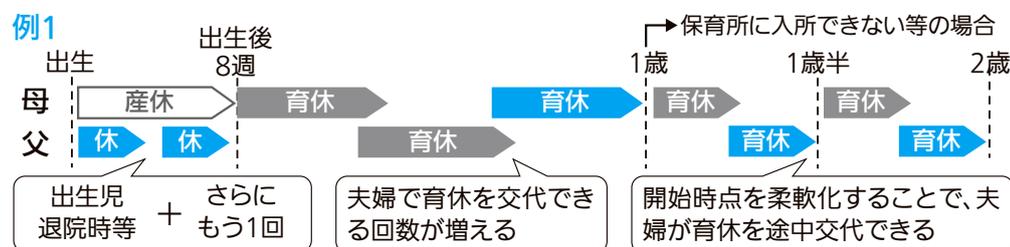
男女ともに仕事と育児を両立できるよう、育児休業制度の見直しにより、育児・介護休業法が改正され、令和4年10月1日から、育児休業を2回まで分割することが可能となりました。また、産後パパ育休(出生時育児休業)も創設されました。

	現行	(R4.10.1～)	
	育児制度	産後パパ育休 (育休とは別に取得可能)	育児制度
対象期間 取得可能日数	原則子が1歳 (最長2歳)まで	子の出生後8週間以内に 4週間まで取得可能	原則子が1歳 (最長2歳)まで
分割取得	原則分割不可	分割して2回取得可能 (初めにまとめて申し出ることが必要)	分割して2回取得可能 (取得の際にそれぞれ申出)
就業	原則就業不可	労使協定を締結している場合に限り、 労働者が合意した範囲で休業中に就 業することが可能(※)	原則就業不可

※:就業日数の上限

- ◆休業期間中の所定労働日数・所定労働時間の半分まで
- ◆休業開始・終了予定日を就業日とする場合は、その日の所定労働時間数未満

2022年10月1日～ 青色の矢印が、今回の改正で新たにできるようになります



産後パパ育休
→分割して2回取得可能

育児休業
→分割して2回取得可能

1歳以降の育児休業
→途中交代可能

就業規則や
労働協約の
点検をして
みましょう。



産後パパ育休のPOINT

- ①最長4週間の休業
- ②2回に分割して取得可能
- ③育休期間中、一定時間数まで働くことが可能
- ④通常の育休とダブルで取得可能
- ⑤雇用保険から就業日数が最大10日以下等の一定要件に該当する場合は、休業1日あたり「休業開始時の賃金日額の67%」の出生時育児休業給付金が支給

2022年度連合埼玉年間研修計画

連合埼玉では年間をつうじて様々な研修・セミナーを開催しています。下記の研修は、組合員・組合役員の知識・スキル向上を目的としており、組合役員教育プログラムをはじめとする、あらゆる活動に活用できるような内容を予定しています。ふるっての参加をお待ちしています。なお、開催場所や内容については、新型コロナウイルスの状況により変化する場合がございます。

日時		研修名
4月	21日(木)	政治研修会
5月	11日(水)	組合役員教育プログラム①②
	14日(土)	組合役員教育プログラム③④
	18日(水)	組合役員教育プログラム⑤⑥
	21日(土)	組合役員教育プログラム⑦⑧
	24日(火)	オルガナイザー研修会(養成)
	27日(金)	第1回メンタルヘルスセミナー(応用編)
	未定	平和集会
6月	9日(木)	政策フォーラム
	23(木)～25日(土)	平和行動in沖縄
	未定	女性委員会「女性のためのステップアップセミナー」(初級編)
	未定	男女平等参画「トップセミナー」

日時		研修名
7月	9日(土)	組合役員教育プログラム⑮
	13日(水)	組合役員教育プログラム⑯
	16日(土)	組合役員教育プログラム⑰
	20日(水)	組合役員教育プログラム⑱
	22日(金)	オルガナイザー研修会(実践)
	27日(水)	組合役員教育プログラム⑲
	30日(土)	組合役員教育プログラム⑳
8月	4(木)～6日(土)	平和行動in広島
	8(月)～10日(水)	平和行動in長崎
9月	3日(土)	災害ボランティア救援隊「継続実施研修(中級編)」
	9日(金)	第1回メンタルヘルスセミナー(基礎編)
	9(金)～11日(日)	平和行動in根室
	未定	女性委員会「女性のためのステップアップセミナー」(中級編)
10月	22(土)～23日(日)	青年委員会 ユースラリー

埼玉大学寄付講座

1月12日(水)埼玉大学での連合寄付講座を開催しました。昨年に引き続き今年も新型コロナウイルス感染防止のため、平尾事務局長による講義は事前に収録をおこなう形でオンラインにて開催され、196名の学生が参加しました。

講義のテーマは、「働くということと労働組合～地域で雇用と生活を守る～」と題し、1時間15分ほどの講義をおこないました。

講義では、労働組合における就業支援活動として、連合埼玉と埼玉労働局で共催している「既卒3年以内及び34歳以下の若者対象就職面接会」などの紹介や安心して働くためのルールとなる労働基準法などの説明をしました。その他にも、埼玉県内の最低賃金(地域別、特定)の決定に労働組合(連合埼玉)がかかわっていることや奨学金の問題解決に対しても連合埼玉が取り組んでいることも紹介しました。

連合寄付講座については、大学の単位取得に関わる講座であることから、受講者全員からのレポートなら

びにアンケート報告がありました。アンケート結果からは、「今回の講義内容は十分理解できましたか?」の質問に対しては、①十分に理解できた(74%)、②理解できた(25.5%)、③よくわからなかった(0.5%)の回答がありました。

連合埼玉では、埼玉大学のように直接講義などできない埼玉県内の大学・短大・専門学校の学生にも連合埼玉「労働法ハンドブック」の配布をすることで、これから社会に出る学生に労働について知ってもらう・考えてもらうきっかけづくりをしていきます。



講義する平尾事務局長

現在予定される2月の日程表です

2月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	火	第1回地協議長・事務局長(13:30～・あけぼのビル)	①熊谷・深谷・寄居地域協議会「第1回幹事会」(18:15～・秩父鉄道労働組合会館) ②ときがわ町長選挙告示日
2日	水	①第1回政策・制度委員会(10:00～・WEB開催) ②組合役員教育プログラム・実務講座③(13:30～・WEB開催)	①連合関東ブロック「代表者会議」(13:30～) ②比企地域協議会「2022労働講座」(18:00～20:30・ガーデンホテル紫雲閣)
3日	木	第1回ライフサポートステーション運営会議(15:00～・あけぼのビル)	連合「闘争開始宣言.2.3中央総決起集会」(18:30～・北とびあさくらホール)
4日	金	第1回ジェンダー平等・多様性推進委員会(10:00～・連合埼玉会議室)	
5日	土	組合役員教育プログラム・実務講座④(13:30～・WEB開催)	
6日	日	2022春季生活闘争パワーアップセミナー(10:00～16:30・あけぼのビル)	①川口市長選挙投票日 ②ときがわ町長選挙投票日
7日	月		北方領土返還要求運動全国大会(11:30～・国立劇場)
8日	火	①第3回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館) ②2022春季生活闘争開始宣言(18:00～・大宮駅東口)	
9日	水		①第2回埼玉就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム会議(10:00～・埼玉労働局)(延期) ②埼玉労福協「第1回中小企業勤労者サービスセンター推進会議」(11:00～・ときわ会館) ③埼玉労福協「第5回代表者会議」(13:30～・ときわ会館) ④埼玉労福協「第5回政策制度会議」(15:30～・ときわ会館)
10日	木		①中央労働金庫「第3回県推進会議」(15:00～・WEB開催) ②本庄・児玉郡地域協議会「第2回幹事会」(18:30～・はにぼんプラザ)
11日	金		
12日	土		
13日	日		東部地域協議会「第9回定期総会」(11:00～・イベントホールネス)
14日	月		①連合関東ブロック「政策担当者会議」(14:00～・連合東京) ②北方領土返還要求運動埼玉県民会議 令和3年度第2回役員会(14:00～・埼玉会館)
15日	火		
16日	水		
17日	木	ネット21東日本大震災被災者支援「ママランチ会」(12:00～・ロイヤルパインズホテル浦和)	
18日	金		①連合「勤務間インターバル制度導入促進シンポジウム」日本能率協会総合研究所主催(13:30～・オンライン開催) ②中央労働金庫さいたま支店「第3回店推進幹事会」(16:00～・WEB開催) ③中央労働金庫さいたま支店「第3回店全体会議」(18:00～・WEB開催) ④朝霞・東入間地域協議会「第1回幹事会」(18:30～・WEB開催)
19日	土		
20日	日		
21日	月		
22日	火	第1回組合役員教育プログラム運営委員会(10:00～・あけぼのビル)	
23日	水		
24日	木	全国一斉集中労働相談ホットライン(10:00～19:00)	
25日	金	全国一斉集中労働相談ホットライン(10:00～19:00)	
26日	土		
27日	日		
28日	月		埼玉地方審議会「家内労働部会」(9:30～・埼玉労働局)



2,000円相当が送料無料で
特別価格でご提供!

大人気の8品をギュッとセットに
定番満足おためしセット

※パルシステムを利用されていない方限定です。お申込みは原則1世帯1回1セット限りとなります。

産直
安心 便利

生協の宅配 パルシステムをはじめましょう!

お問い合わせ ☎ **0120-860-678**

生活協同組合パルシステム埼玉 受付センター
●受付時間/月～金 9:00～20:00



選べるおためしセットの詳細は、
パルシステム おためしセット 検索



<オミクロン株>

オミクロン株の感染拡大により、異次元のスピードで第6波が襲い掛かっています。これまでの感染予防対策や2回のワクチン接種中でも、感染が広がっています。

オミクロンと聞くと、記号は「o」ギリシャ文字のアルファベット15番目で、アルファ「α」から始まり、β（ベータ）、γ（ガンマ）、δ（デルタ）と続き、15番目となります。昨年の夏まで感染拡大をしていたδ（デルタ）株は、ギリシャ文字で4番目ですが、その後も世界各地で変異を続けています。

WHO（世界保健機関）が指定している変異株は、「懸念される変異株」「注目すべき変異株」「監視すべき変異株」「以前監視されていた変異株」の4つに分類され、現在13株あります。ちなみに、ギリシャ文字の13番目のν（ニュー）と14番目のξ（クサイ）は使用されていません。

WHOは、以前は発生した国名を使っていましたが、新型コロナウイルスの変異株の名称には、ギリシャ文字のアルファベットを使うようにしました。

中でも、「懸念される変異株」は、感染力が強く、免疫力を低下させるなど、社会への影響が大きい変異株として、アルファ株（英国）、ベータ株（南アフリカ）、ガンマ株（ブラジル）、デルタ株（インド）に続く5番目に「オミクロン株（南アフリカ）」を指定しています。

このように感染力の高いオミクロン株の感染拡大の中にあっても、2022春季生活闘争は「総合生活改善闘争」の位置付けのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合がそれぞれの職場において、リアル・オンラインに関わらず前に出て、私たちの社会・経済の構造的な問題解決をはかる「けん引役」を果たす闘争でもあります。

このような厳しい環境の下での2022春闘の役割について、少し考えてみたいと思います。

<春季生活闘争（通称：春闘）の強み>

春闘のはじまりは、1955年の春季交渉からになります。当時の8単産（私鉄総連、炭労、電産、合化労連、紙パ、全国金属、化学同盟、電機労連）が集まり、この「8単産共闘」から、春闘（しゅんとう）が始まりました。その翌年の1956年には、公務員の労組も参加して官民統一の動きがあり、1957年には早くも賃上げ「春闘相場」という用語が誕生しました。1959年には、鉄鋼労連が参加し、闘争参加労働者数は約400万人となり、春闘の形が整いました。

現在、全国で連合傘下（約700万人）の構成組織（産別）・加盟組合が、同じ時期に、賃上げなどを一斉に要求する取り組みは、非常に大きな社会機運（モメンタム）となって賃金相場を形成することに繋がり、社会的にも春闘の強みとなっています。

<みらいをつくる みんなでつくる>

日本の賃金水準は、個別賃金（年齢別など限定した賃金）が1997年をピークに、5ポイント以上、23年間下がり続けています。また、平均賃金については、世界の主要先進国（9カ国）の年平均賃金の比較で8番目の位置にいます。（①アメリカ、②オーストラリア、③ドイツ、④イギリス、⑤スウェーデン、⑥フランス、⑦韓国、⑧日本、⑨イタリア）

一方、一人あたりのGDP（国内総生産）を見ると、1997年以降も緩やかな上昇トレンドにあり、生産性向上に見合った適正な分配がおこなわれていないことが明らかになっています。

このような状況を見ると、GDPの6割を占めるという個人消費が伸び悩むことはもちろんのこと、年齢別、雇用形態別の賃金分布をみても、低所得者層が増えて、中間層が減ってきて、所得格差が広がっています。

したがって、私たちが必要なことは、「人への投資」を起点とした好循環（人への投資⇒意欲と所得の向上⇒消費拡大⇒企業の利益向上⇒人への投資）をまわすことであり、「人への投資」は、「みらいをつくる」こととなります。

また、私たち労働組合は、春季生活闘争をつうじて、会社へ要求し、交渉をおこない、賃金などの改善をおこなうことができます。春季交渉の影響は、公務員の皆さんの賃金引上げにも影響しますし、最低賃金の取り組みにも影響します。春季生活闘争の取り組みを、同じ時期に、みんなで取り組むことで、労働組合のない企業にも情報が届き、社会に知ってもらうことで、賃金上がる機運も高まり、「みんなでつくる」取り組みになります。



荒川水循環センター上部公園のパークゴルフ場

<大地の森>

埼玉県戸田市にある「荒川水循環センター上部公園」は、地域の下水処理をおこなっている下水道終末処理場です。この上部空間（屋上）の有効利用をはかり、「大地の森」をコンセプトに2018年7月に整備されました。とても、屋上とは思えないほどの空間です。

新型コロナウイルス感染症の第6波がピークを迎えている中で、春の訪れを待ちわびながら、冬空の澄んだ空気の中、公園内の散歩を楽しむのに、とても良い場所です。

また、パークゴルフ（公園で幅広い年代の人ができるスポーツ）も気軽にできる公園としても、お勤めのスポットです。

2022春季生活闘争をつうじて、多くの働く仲間の未来をつくるためには、それぞれの組織や職場で多くの働く仲間の思いを集め、新たな未来に向けて、実りある交渉をつうじて、「みんなの春闘」を共に作りあげたい。

2022.1.19